



ソフトバンクグループ株式会社

2022年3月期 第1四半期 決算説明会

質疑応答

2021年8月10日

質疑応答

質問者 1：ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）全体のポートフォリオとして、SB Northstar（以下「ノーススター」）とソフトバンク・ビジョン・ファンド（以下「SVF」）についてそれぞれ1点ずつ伺います。ノーススターは縮小する方向ということで、実際に決算短信を見ても、全体的に持分、現物、オプションとも減ってきていると思いますが、一方で、マーケット環境によっては安定した収益源というか、活用の余地もあるように思います。今後のノーススターの活用の余地、役割についてどのようにお考えかお聞かせください。

孫：ノーススターは当面、縮小します。なぜならば、SVF への投資資金需要が旺盛にあるということで、あくまでもわれわれが優先すべきは SVF だと思しますので、ノーススターは当面、縮小するということです。

質問者 1：主力の SVF について、中国のカントリーリスクも踏まえて、今日のご説明で国、地域別、セクター別、示していただいて大変分かりやすいご説明だったと感じています。

現状、ほぼバランスが取れているという評価だったと思いますが、あらためて現状のバランスについての評価と、中国がいったん調整で、比率は減っていますが、今後、国、地域別とセクター別、それぞれ重心の置き方などについて、現時点で方針がございましたらお聞かせください。

孫：今、世界の AI 技術革新は、中心が二つあって、米国と中国だと思っています。ですから、今後も、中国における AI 技術、そしてビジネスモデルの革新はどんどんと続いていくのだろうと、強く信じています。

ただ、投資活動においては、さまざまな新しい規制等が始まっていますので、どのような規制がどの範囲まで行われるのか、そして、それが株式市場にどのような影響をおよぼすのかをもう少し様子を見てみたい。われわれが、何か中国政府の動きに対して反対しているとか、そういうことはまったく考えていませんし、中国の将来性について疑念を抱いているかということ、それもまったく違う。

ただ、新たな規制、新たなルールが、今、始まろうとしていますから、もう少し様子が固まるまで、われわれとしては様子を見てみたいとおそらく1年、2年すれば、新たなルールの下における、新たな秩序がもう一度、しっかりと構築されると私は信じていますので、その状況がはっきりしてくれば、またそちらへの投資活動を活発に行うということは、十分可能性としてはありますが、ここしばらくは、やはり様子を見てみたいと考えているところです。

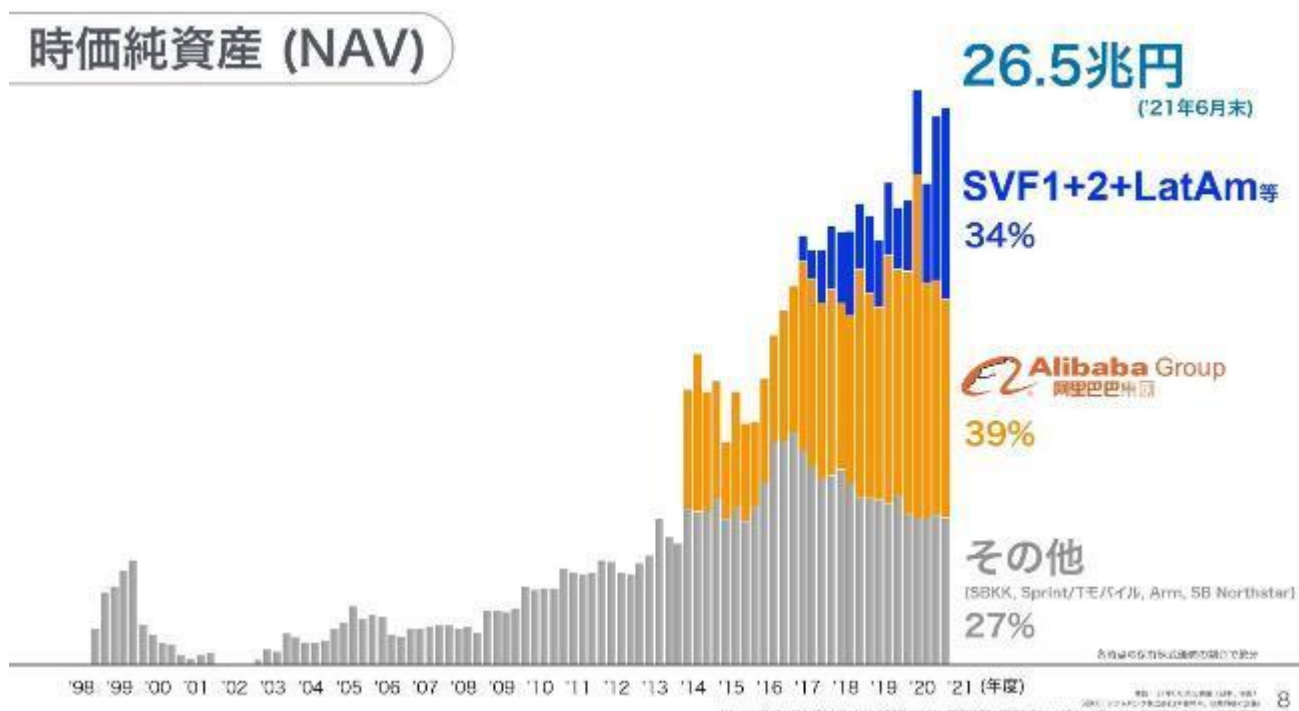
質問者 2：中国関連で、直近の投資が 11%ということでしたが、これはいつごろのことでしょうか。23%という円グラフも出ていたと思います。

孫：23%は、この 4 年間の SVF1 と 2 全体を見た比率で、11%というのは 21 年度。この 4 月以降、SVF2 の投資活動が活発に続いています、国別で見ると新たに投資を行っている比率は、中国関連は 11%だったということです。

質問者 2：アリババ関連は先ほどの Net Asset Value (NAV) のうちまだかなり大きい部分を占めていると思うのですが、これも中国の規制によって、結構影響が起きてくるのではないかと思います。今、新しい投資については様子を見たいということでしたが、アリババ関連は今後どうなるとお考えでしょうか。

孫：そうですね。アリババについては、すでに中国の独禁法の規制の中で、多額の賠償金みたいなものを支払ったばかりですし、新しいルールにしっかりと基づいて、今後の事業活動が継続されると信じています。

また売上は、ここ最近ずっと 1.3 倍ずつぐらい伸びていたわけですが、直近もそれが衰えずに依然として伸びていますので、アリババの株価もいずれ落ちれば、また回復してくると私は信じています。



NAV のグラフでお示しした通り、ちょうどアリババが 39%、SVF 関連が 34%という状況ですが、実は今日現在の数字で言うと、このブルーの SVF 関連とアリババ関連が、ほぼ同じぐらいか逆転するぐらいまで来ているということで、SVF の部分が比率として非常に伸びています。絶対額とし

ては、アリババも減っていますし、滴滴だとかフル・トラック・アライアンスだとか、中国関連の部分で少しマイナス方向にありますし、比率としては、アリババー極依存という状況はだいぶ減ってきたと。

ただ、アリババ自体も、売上が順調に伸び続けていますので、株価もいずれは持ち返してくると、個人的には見えています。

質問者 3：2021年3月期第4四半期は、SVFだけでも3兆円を超える投資利益が出ていたと思います。今回はSVF1と2だけを見ると、3,000億円台だったと思うのですが、中国以外の銘柄、クーポンとかザイマージェンとか、あの辺りも結構株価が下がるなど、ボラティルな動きがあったと思うのですが、その辺りの受け止めをお聞かせください。

孫：クーポンの株価は下がりましたが、累積した投資額から見ると、まだまだ大きく利益が出ています。クーポン自体は立派な会社だということで、投資は非常にうまくいったと思っていますが、直近の株価では、上場した直後よりは下がっている状況ですね。

それから、中国関連の会社は、3月末には滴滴も含まれていますが、中国関連は非常に厳しい状況にあるということですね。

質問者 3：SVF2に関して、今回、再度出資コミットメント額を増額していると思います。投資のペースもかなり速く、かなり攻めているというのは、こういった思惑、戦略があるのでしょうか。あと、外部投資家を入れる方針はないのでしょうか。

孫：攻めはまだまだ続くと考えています。なぜならば、AI革命はまだ始まったばかりで、これから20年ぐらいずっと、どんどん広がっていくと。今まだ入り口だと思っていますので、攻めはこれから始まると言っても過言ではないぐらい、ずっと続いていくと考えています。

外部投資家からの資本調達については、最近はこちらは、場合によっては参加したいという声も出始めてはいるのですが、われわれの資金の、自己還流のエコシステムが回り始めてきていますので、できればしばらくは、今の状態で続けていきたいなど。永遠に他から集めないと決めたわけではありませんが、今のところ自己資金で十分に還流でき始めているということです。

質問者 4：自己株式取得について、今回、投資家の中で大変期待感が高かったのですが、どう考えればいいのでしょうか。

孫：今まで大きな資産売却のときに、自己株式取得を発表してきました。今回は、そのような大きなイベントがなかったので、発表していませんが、一方、われわれの時価純資産に対して50%近いディスカウントが、株式市場で今ついています。保有している時価純資産に対して、われわれの

時価総額は50%ぐらい割安になっているということですから、どこかのタイミングで自己株式取得はいずれやるのだろうなど。どのタイミングで、どのくらいの規模で行うかについては、日々検討している状況です。

質問者4：中国のリスク関連について、投資先時価のうち23%が中国ということでした。成長性への期待感がかなり大きかったと思う。滴滴、バイトダンス、フル・トラック・アライアンスなどがありますが、どう考えればいいでしょうか。期待感はまだありますか。それとも、やはり今の規制環境の中で、大きく見直さないといけないとお考えでしょうか。

孫：期待は今でも大いにあります。実際にわれわれがSVF1と2で投資を行った中国関連のトータルでは、今でも利益が出ています。ただ、今後新たな投資をすることについては、先ほどコメントしましたように、今年に入ってから、4月以降の投資の中での比率は今11%程度になっていると。

それはもうしばらく様子を見てみたいと。もうしばらくというのが半年なのか、1年なのか分かりませんが、どのような規制がどこまで広く、深くなるのかを、様子を見極めてから。またどの分野だったらリスクがより小さいのかも、今まだよく分からないので、そこは少し用心をして、いずれその辺がよく見えるようになったらまた、投資を再開していきたいと考えています。

質問者5：中国政府からのテック企業への統制強化について、先ほどご回答あったのですが、保有株式価値で見ますと、アリババを含めると中国の上場企業の割合が5割前後あると思うが、7月以降のNAVへの影響をどう見ているかと、期間がどれぐらい続くか。あとは、バイトダンスとか、有望な企業にも投資されていますが、そういった未上場企業のイグジットへの影響や、対策についてお伺いします。

孫：先ほどからコメントしていますように、われわれトータルでの投資では中国関連も利益が十分出ていますが、新たなものについては、われわれもよく分からない、もう少し様子を見て、その上で投資の再開、活発な再開はこれから考えていきたいと。とにかく、いいも悪いも今、われわれもよく分からないということで、当面は用心深くいきたいと考えています。

質問者5：先ほどのSVF2への外部からの資金調達について、AI産業への資金需要は、これから大きく増えるという説明もありました。その中で、外部資金の調達をするべきタイミングが来るとすれば、こういった環境でしょうか。あとは、その際にウィーワーク問題などでSVFの信頼が毀損したという話も多いのですが、その信頼度は今どの程度、回復していると見ているかを教えてください。

孫：外部調達については、具体的な時期だとか規模は、まだ社内では何も議論してないですね。SVF1の終わりごろで、われわれの信用がだいぶどん底になりましたが、先ほど累積のSVF1と2の業績を挙げました。

6.7兆円ぐらいSVF1と2の累積で利益が出てきている状況ですから、そういう意味ではわれわれの投資の目利き力といいますか、マネージ力については、だいぶ信用が回復したのではないかと思います。しかし、これは相手が判断することで、われわれが判断することではないので、とにかく一生懸命、継続して利益が出るように頑張っていきたい。

ただ、いろいろな環境で上がったたり、下がったりこれからもすると思うのです。実際に20年間、振り返ってみてインターネット業界も途中でネットバブルがはじけたり、リーマンショックがあったり、いろんな紆余曲折あったのです。でも、26年間の中で2,000倍ぐらい伸びたのです。

ですから、同じようにAI革命も始まったばかりですから、これからいろいろなでこぼこあると思いますが、大きな目で見れば必ず右肩上がり、僕は価値が伸びていくと信じていますので、とにかく信じる道を一步一步進めていくと、このような姿勢でいきたいと思っています。

質問者6：共同出資プログラムについて、SVF2とソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドが対象で、経営者としてコミットメントを強める、リスクを取るとご説明いただいたのですが、利払い債務について、個人保証が差し入れられるという文言が書いてあります。孫社長から、5億ドルのSBG株がSVF2に預託されると書いてあります。これについてもう少し説明をいただけますでしょうか。

また、先ほど、孫社長がおっしゃっていたリスクというものが、結局はSBGの株主へいくということはないのでしょうか。昨今、株価が少し軟調ということもありますので、あえてこのような質問をさせていただきます。

孫：先ほど私個人で、まず代表して17%ほど共同出資で投資すると申し上げました。金額にして、確か2千数百億だったと思いますが、私個人が今保有しているSBG株の財産価値は3兆5千~6千億だったと思います。毎日変わりますけどね。個人で3兆数千億の財産価値がある中で、2千数百億円のリスクを取るというのは、取りあえず耐えられるのではないかなと考えている次第です。

私自身はとにかく不退転の覚悟で、良いときも悪いときも、共同出資者として、先ほど外部調達は当面まだしません、考えていないと申しました。いずれするかもしれませんがね。少なくとも私自身は経営陣として、共同出資者として、しっかりとリスクを取って経営を行っていきたくて考えています。

質問者 6： 前回の決算説明会と、いろいろなところでの経営陣のご発言を考慮しますと、昨今では SVF2 に対して、外部からのお金を招き入れる、そういった準備もできているかのようなご発言が多かったように見受けられますが、今日のご発言ですと、自己資本でやっていきたいということで、これは共同出資プログラムと何らかの因果関係を持つのでしょうか。外部から集まりにくいので、孫社長がお金を入れるということになったのか、それともその逆なのか、どういう関連があるのかご説明ください。

孫： おそらく何かの勘違いで、僕は SVF2 に外部から資本を招き入れるという発言はこの 1 年間ぐらいいまわってないつもりでして、人気がなかったので、SVF2 は手金で始まっていますと。取りあえず始まって、われわれの自己資金で十分に SVF1、2 からの売却等のイグジットも始まっていますので、資金還流プログラム、エコシステムが回り始めた。

従って、外部からの資金を当分はまだ集めなくても回っていきそうということで、内部では外部からの資金を集めるということ、今は少なくとも議論はしていない。一方で、経営陣がただのサラリーマン系でリスクも取らない、リターンも取らないというよりは、しっかりとリスクも取って、リターンも取るほうが僕は株主にとっても、会社の経営にとっても、より良い成果を生むと信じています。

従って、一般的にはベンチャーキャピタルのファンドと言うと、経営陣はリスクを 1 円も取らずに、リターンだけ 20% から 30% もらうようなプログラムが一般的ですが、僕は、それはあまり良くないのではないかと思います。やはりリスクを取って、リターンも得るというほうが、株主の皆さんにとってはベターだと思っていますので、このような形でちゃんと 17% 相当のリスクを取って、経営にあたりたいと考えているわけです。

質問者 7： SVF2 の投資について伺います。先ほどのスライドだと SVF2 の投資先が 161 社で、明らかに足元でペースが上がっていると思ひまして、1 日当たりに換算すると、平均 1 社ないし 2 社、投資を決定しているように思えるのですが、ペースが上がっている理由を教えてください。ペースを上げるにあたって、投資担当を増員するなどリスク管理が十分にできているのか、そういった対応についても教えてください。

孫： 明らかに AI を活用したユニコーンが、どんどん増えてきている。われわれとしても、投資を活発に行うための、マネジメントチーム、投資チームのメンバーもだいぶ経験値が蓄積してきた。その両方の理由でペースが上がってきた。

一方、SVF1 のときは、1 件当たりの投資金額が大きかった。SVF2 からは、でかいユニコーンだけではなくて、もう少し早め、小さめの会社にも分散して、たくさん投資をすることで、1 件当た

りの投資金額はSVF1のときよりは減ってきている。その分、リスク分散も進んでいる状況だと思っています。ですから、今のペースでしっかりと当分頑張っていきたいと考えています。

質問者 8：一昨日、東京オリンピックが閉幕しました。以前、ご自身のツイッターで、「誰が何の権利で強行するのだろうか」といったツイートもされていましたが、閉幕した今、あらためてオリンピックに対してどのような思いがあるかお聞かせください。

孫：そうですね。アスリートの方には何の罪もないと思うのです。一生懸命にスポーツをし、感動を与えてくれたという意味では、大変感謝したいと思いますし、尊敬も申し上げます。一方、今感染が爆発している状況になっていますので、そのことに対しては非常に心を痛めて、非常に心配をしている状況です。

IMPORTANT INFORMATION

Disclaimers

This presentation provides relevant information about SoftBank Group Corp. (“SBG”) and its subsidiaries (together with SBG, the “Company”) and its affiliates (together with the Company, the “Group”) and does not constitute or form any solicitation of investment including any offer to buy or subscribe for any securities in any jurisdiction.

This presentation contains forward-looking statements, beliefs or opinions regarding the Group, such as statements about the Group’s future business, future position and results of operations, including estimates, forecasts, targets and plans for the Group. Without limitation, forward-looking statements often include the words such as “targets”, “plans”, “believes”, “hopes”, “continues”, “expects”, “aims”, “intends”, “will”, “may”, “should”, “would”, “could” “anticipates”, “estimates”, “projects” or words or terms of similar substance or the negative thereof. Any forward-looking statements in this presentation are based on the current assumptions and beliefs of the Group in light of the information currently available to it as of the date hereof. Such forward-looking statements do not represent any guarantee by any member of the Group or its management of future performance and involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, including but not limited to: the success of the Group’s business model; the Group’s ability to procure funding and the effect of its funding arrangements; key person risks relating to the management team of SBG; risks relating to and affecting the Group’s investment activities; risks relating to SB Fund (defined as below), its investments, investors and investees; risks relating to SoftBank Corp. and the success of its business; risks relating to law, regulation and regulatory regimes; risks relating to intellectual property; litigation; and other factors, any of which may cause the Group’s actual results, performance, achievements or financial position to be materially different from any future results, performance, achievements or financial position expressed or implied by such forward-looking statements. For more information on these and other factors which may affect the Group’s results, performance, achievements, or financial position, see “Risk Factors” on SBG’s website at https://group.softbank/en/ir/investors/management_policy/risk_factor. None of the Group nor its management gives any assurances that the expectations expressed in these forward-looking statements will turn out to be correct, and actual results, performance, achievements or financial position could materially differ from expectations. Persons viewing

this presentation should not place undue reliance on forward looking statements. The Company undertakes no obligation to update any of the forward-looking statements contained in this presentation or any other forward-looking statements the Company may make. Past performance is not an indicator of future results and the results of the Group in this presentation may not be indicative of, and are not an estimate, forecast or projection of the Group's future results.

The Company does not guarantee the accuracy or completeness of information in this presentation regarding companies (including, but not limited to, those in which SB Funds have invested) other than the Group which has been quoted from public and other sources.

Regarding Trademarks

Names of companies, products and services that appear in this presentation are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Important Notice – Trading of SBG Common Stock, Disclaimer Regarding Un-sponsored American Depository Receipts.

SBG encourages anyone interested in buying or selling its common stock to do so on the Tokyo Stock Exchange, which is where its common stock is listed and primarily trades. SBG's disclosures are not intended to facilitate trades in, and should not be relied on for decisions to trade, un-sponsored American Depository Receipts ("ADRs").

SBG has not and does not participate in, support, encourage, or otherwise consent to the creation of any un-sponsored ADR programs or the issuance or trading of any ADRs issued thereunder in respect of its common stock. SBG does not represent to any ADR holder, bank or depository institution, nor should any such person or entity form the belief, that (i) SBG has any reporting obligations within the meaning of the U.S. Securities Exchange Act of 1934 ("Exchange Act") or (ii) SBG's website will contain on an ongoing basis all information necessary for SBG to maintain an exemption from registering its common stock under the Exchange Act pursuant to Rule 12g3-2(b) thereunder.

To the maximum extent permitted by applicable law, SBG and the Group disclaim any responsibility or liability to ADR holders, banks, depository institutions, or any other entities or individuals in connection with any unsponsored ADRs representing its common stock.

The above disclaimers apply with equal force to the securities of any of the Group which are or may in the future be the subject of unsponsored ADR programs, such as SoftBank Corp. or Z Holdings Corporation.

Notice regarding Fund Information contained in this Presentation

This presentation is furnished to you for informational purposes and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in any fund managed by a subsidiary of SBG, including SB Investment Advisers (UK) Ltd. (“SBIA”), SBLA Advisers Corp. (“SBLA”) and any of their respective affiliates (collectively, the “SB Fund Managers” and each an “SB Fund Manager”) (such funds together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle collectively, the “SB Funds” and each an “SB Fund”). For the avoidance of doubt, the SB Funds include, among other funds, SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF1”), and SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund II” or “SVF2”), which are managed by SBIA and its affiliates, SoftBank Latin America Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “SoftBank Latin America Fund” or “LatAm Fund”), which is managed by SBLA and its affiliates.

None of the SB Funds (including the Vision Fund I, Vision Fund II and SoftBank Latin America Fund), the SB Fund Managers (including SBIA and SBLA), any successor or future fund managed by an SB Fund Manager, SBG or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the SB Funds or any other entity referenced

in this presentation, or future performance of any successor or the future fund managed by an SB Fund Manager.

Information relating to the performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the relevant SB Fund, any other entity referenced in this presentation or any future fund managed by an SB Fund Manager. References to any specific investments of an SB Fund, to the extent included therein, are presented to illustrate the relevant SB Fund Manager's investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments of an SB Fund may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described in this presentation do not represent all of the investments made by the relevant SB Fund Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed therein were or will be profitable.

The performance of an SB Fund in this presentation is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the relevant SB Fund Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated in this presentation or used to calculate the returns contained therein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the relevant SB Fund's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the relevant SB Fund Manager's valuations are based.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of an SB Fund or any future fund managed by an SB Fund Manager may be materially lower than the performance information presented in this presentation. There can be no assurance that each

SB Fund or any future fund managed by the relevant SB Fund Manager will achieve comparable results as those presented therein.

The actual realized return on unrealized investments by an SB Fund may differ materially from the performance information indicated in this presentation. No assumption should be made that investments identified and discussed in this presentation were or will be profitable, or that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described therein.

Third-party logos and vendor information included in this presentation are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that an SB Fund Manager, an SB Fund's portfolio companies, any future portfolio companies of a future fund managed by an SB Fund Manager or SBG will work with any of the firms or businesses whose logos are included in this presentation in the future.

SBIA and SBLA manage separate and independent operations and processes from each other and those of SBG and any SB Funds managed by SBIA or SBLA are solely managed by SBIA or SBLA respectively.

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下 SBG と併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、

当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」

(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなし ADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBG の普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBG の開示は、スポンサーなし ADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADR の取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBG は、SBG の普通株式に関するスポンサーなし ADR プログラムの設立又はそれに基づき発行される ADR の発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBG は、ADR 保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBG が 1934 年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBG のホームページに、SBG が証券取引所法ルール 12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づく SBG の普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG 及び当社グループは、SBG の普通株式を表象するスポンサーなし ADR に関連して、ADR 保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社や Z ホールディングス株式会社などの、スポンサーなし ADR プログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又は SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含む SBG の子会社（以下併せて「SB ファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SB ファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SB ファンドは、他のファンド同様、それぞれ SBIA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」または「SVF1」）と SoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビ

ジョン・ファンド2」または「SVF2」)を含み、また、SBLA とその関係会社によって運用されている SoftBank Latin America Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、リーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」)を含みます。

SB ファンド (ビジョン・ファンド1 及びビジョン・ファンド2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SB ファンド運用会社 (SBIA を含む)、SB ファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG 又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報は SB ファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又は SB ファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SB ファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連する SB ファンド、本資料に言及されるその他のファンド又は SB ファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SB ファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連する SB ファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SB ファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連する SB ファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載される SB ファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連する SB ファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因 (例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。) に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連する SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、

いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連する SB ファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SB ファンド又は SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各 SB ファンド又は関連する SB ファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SB ファンド運用会社、SB ファンドのポートフォリオ会社、SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又は SBG が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA 及び SBLA は、SBG からそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 を含む SBIA によって運営されている SB ファンド